

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課	所属長名	山口 清孝	電話	483-1151 内線2450
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3633	事務事業名称	電子計算組織管理事業				短縮コード	経常	3633	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市電子計算組織管理運営規程							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<ul style="list-style-type: none"> 事務処理量の増大により自己電算処理の必要が生じた。 市政運営の効率化と市民への情報提供の迅速化の要求による。 												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	06	計画推進のために					
1. 事務処理の電算化は、市政運営に不可欠な状況であり、個々の業務処理について、より細かい処理をするようになってきているため、今後増加する傾向にある。 2. 行政サービス(窓口サービス)の時間の延長や総合窓口(ワンストップサービス)が要請される中で、今後、その対応が必要になる。					大項目 (節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中項目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立					
					小項目 (施策)	01	効率的な行政運営の確立					
					細項目	04	電子自治体の推進					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>		計画事業期間	～			計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	<ul style="list-style-type: none"> 電算業務処理依頼課 電子計算機による行政事務処理 						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと: 1. 各課より電算処理の依頼のあった業務処理および業務処理に伴う消耗品の調達および電子計算機本体並びに関連機器の維持管理をした。 2. パソコンサーバシステム導入課で住民記録情報等の電子計算機本体で管理している情報を必要とする部署に対し、情報の配信とシステム間連携の維持管理をした。 ※平成23年度に計画していること: 1. 各課より電算処理の依頼のある業務処理および業務処理に伴う消耗品の調達および電子計算機本体並びに関連機器の維持管理をする。 2. パソコンサーバシステム導入課で住民記録情報等の電子計算機本体で管理している情報を必要とする部署に対し、情報の配信とシステム間連携の維持管理をする。						
意図 (何を狙っているのか)	1. 迅速な業務処理を行い、各業務処理依頼課に対して正確な結果を提供するとともに、市民への行政サービスの向上を図る。 2. 電子計算機および関連機器に障害が発生しないよう管理するとともに、安全・安定性の高い運用をする。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分		単位	21年度	22年度		23年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	業務処理依頼総件数	件	10,484	10,800	11,603	10,292
	指標2	業務処理予定総時間数	分	256,273	236,300	276,914	217,409
	指標3						
活動指標	指標1	業務処理総件数	件	11,184	10,300	11,696	10,807
	指標2	業務処理総時間数	分	245,805	203,100	250,374	228,279
	指標3						
成果指標	指標1	業務処理総件数/業務処理依頼総件数	%	107	95	101	105
	指標2	業務処理総時間数/業務処理総件数	分	22	19.7	21.4	21.1
	指標3	業務処理総件数のうち円滑に処理した件数の割合	%	100	100	100	100
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3633	事務事業名称	電子計算組織管理事業		所属名	情報管理課			
	単位	21年度		22年度		23年度			
		実績		計画		実績		計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円						
		県	千円						
		地方債	千円						
		一般財源	千円	171,851	172,175	171,365	172,004		
	その他	千円							
主な事業費の内訳		委託料（電子計算組織運営管理業務委託・電子計算機処理用データ作成業務委託）22,234 使用料及び賃借料（電子計算機賃借）146,793		委託料22,129使用料及び賃借料147,314		委託料（電子計算組織運営管理業務委託・電子計算機処理用データ作成業務委託）22,117 使用料及び賃借料（電子計算機賃借）146,847		委託料（電子計算組織運営管理業務委託・電子計算機処理用データ作成業務委託）22,137 使用料及び賃借料（電子計算機賃借）147,314	
人件費(B)		千円	14,646	14,197.8	14,834	14,078.2			
トータルコスト(A)+(B)		千円	186,497	186,372.8	186,199	186,082.2			

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由	
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	業務処理を迅速に終わることにより、業務課の業務が円滑に進み市民への対応も良好になり、市民等に信頼や好感を持たれることにより、行政への参加や協力が得られ良好な関係になる。	
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある		
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	大型汎用電子計算機の利用による各業務処理依頼課に対して、処理期日までに作業を終え正確な結果・成果品を提供している現状は一応の目的を達成していると言えるが、日進月歩している情報処理技術の導入により業務処理依頼課への対応の即時性、業務の効率性の更なる向上が見込まれる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	市税の賦課徴収業務や住民基本台帳ネットワーク等に直接的にかかわる業務であり、民営化になじまない。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現在は、各業務担当課からの依頼により迅速に処理し正確な結果を提供している業務であるので現状のままでよい。	
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項		
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある		
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある		
		<input type="checkbox"/> 可能性がない		
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	「共通基盤システム」の導入による大型汎用コンピューターシステムの利用からパソコンサーバシステムの利用への切替（ダウンサイジング化）により、各業務課の業務をPC（パソコン）系システムに切り替えることで、業務課における即時処理性能の向上、利用時間の延長が図られることで、現在業務課が行っているシステム運用年間計画書の作成、週間業務処理依頼書の作成、汎用システム側職員による内容精査、システム処理、成果品出力の作業が大幅に無くなることと、各業務システムの情報を横断的に統合することで総合窓口サービスの実現が可能なシステム環境となる。	
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用		
		<input checked="" type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	類似事務事業名称	1	実施主体 (所管部署)
	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		2	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法			実施主体 (所管部署)
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	新システムについては、平成23年6月に事業者と契約を行い、平成24年7月の住民基本台帳法改正の施行に合わせて稼働させることから、移行期間が短いため、スケジュール管理が重要となる。		
	<input type="checkbox"/> ない			

コード	3633	事務事業名称	電子計算組織管理事業			所属名	情報管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続			市民サービスの向上を考慮し、より業務の迅速化・効率化を図るために、汎用機上で稼動しているシステムを対象にオープンシステム化し、連携が複雑に絡んでいて、相互のシステム連携に互換性がないなどの本市の基幹情報システムの問題点を改善して再構築する。新システムについては、データセンターでの運用管理とし、運用形態はシステム利用型（ホスティング）とする。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平成24年7月より、システム運用時の障害対応、バックアップ、運用保守、監視業務、オペレーション業務など、システム運用全般に係る業務、管理責任を包含して契約期間を10年間として委託することにより、安定的な稼働期間を確保できるとともに、経費の削減ができる。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>・オンライン処理は17時に終了するが、市民窓口を担当する各課の事情で延長して欲しいという要望がある。また、市民の要請により、業務処理依頼書の提出後に急遽処理の必要が生じる場合があるので、柔軟な対応が求められている。</p>	

所属長コメント	基幹情報システムの問題点に対しては、システム改善とそれに伴う業務改善といった「業務・システム」からの改善方策と組織体制の整備や人材育成といった「組織体制・人材」からの改善方策が考えられる。22年度では関係部課の連携のもと検討を進め「基幹情報システム再構築の方向性について」を決定した。24年7月の新システム運用開始に向けてシステム構築・スムーズなデータ移行等を図り、効果的で効率的な運用体制を整備する必要がある。	
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	基幹情報システムの再構築については、課題解決に努め順次推進し、効率的な事業の遂行に努めること。